

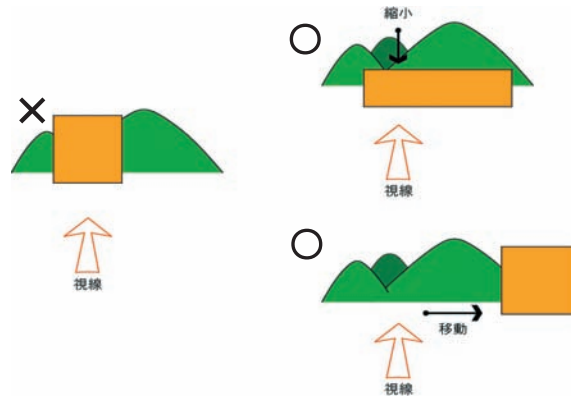
## 5. 共通指針

### 5-1 基本的事項

#### 5-1-① 位置及び規模

1. 地域のランドマークやスカイライン等を阻害しないよう、視点場からの眺望に配慮する。

・主な視点場から背景となる自然の山並みなどへの眺望を阻害しないよう、また、より眺望しやすいよう施設の位置や高さ、規模について十分な配慮が必要です。



・地域のランドマークとなっている山や歴史的建造物等を眺めやすい位置とすることにより、地域の個性ある印象的な景観を創出することができます。

#### ◆山アテ、ヴィスタ・アイストップ

##### 「山アテ」

印象的な山や天守閣に向けて街路軸をあわせることで特徴的な景観を演出する日本の伝統的な手法。

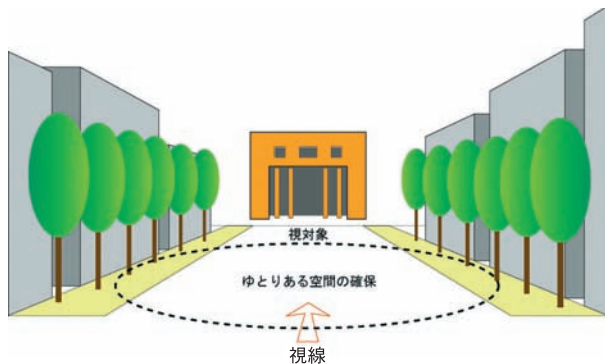
また沿岸地域では、漁民や航海者が目印となる山との視覚的關係から自己の位置を確認する方法であった。

地域性を保持する景観手法のひとつとして有効である。

##### 「ヴィスタ・アイストップ」

道路軸線上等のアイストップでは、道路上の視点場からの視線が集中することから景観上重要な場所となる。こうした視点場からの視線を一定方向に向けることで、その地域や場所のランドマークを効果的に見せる「ヴィスタ」が景観設計の手法として挙げられる。

ゆとりある空間により見通しを確保するほか、高木並木によっても、ランドマーク性の演出が可能である。



特徴的な姿の山が通りの先に見えることにより、地域性が演出されている。(伊万里市)



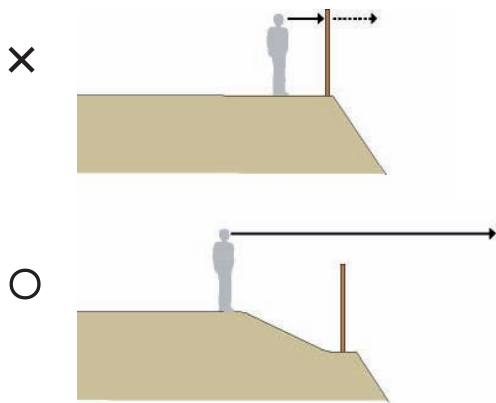
ゆとりある道路計画や並木により、建築物を効果的に見せている。(佐賀市)

### 5-1-1 ① 位置及び規模

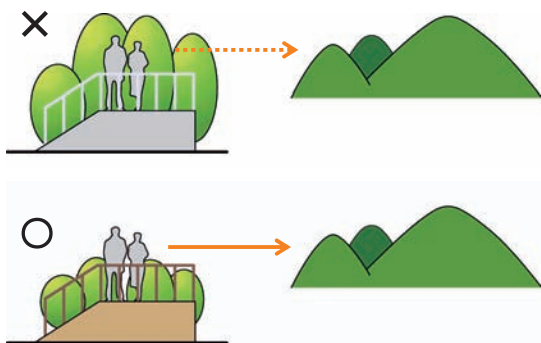
2. 山、海、川等の自然や、田園、まちなみ等の眺望を楽しむことができる場を設けるよう工夫する。

・美しい景観があっても、眺望を楽しむ場がなかったり、眺める場が整備されていないと、人は良い景観として感じる事ができません。

視点近くの阻害要因を排除し、人が滞在し、眺望を楽しむための場を確保する等、居心地の良い視点場となるよう工夫することが重要です。



・防護柵の位置の工夫等により、眺望しやすくする。



・自然景観の中にある展望施設は、自然素材等や低彩度、低明度の色彩の採用等により、周辺景観と調和させる。また、良好な眺望を維持するための管理も重要である。

・地域の景観資源をより良く見せる新たな視点場の創出や、既存の視点場をより眺めやすく、居心地良くすることにより、地域の魅力向上につながります。



転落防護壁の位置を下げることで、防護壁の機能を確保しつつ、海が眺望しやすくし、テラスやベンチの設置により居心地を良くしている。

#### × 配慮が望まれる事例



眺望を楽しむ場所が、維持管理がなされず良い景観が生かされていない。

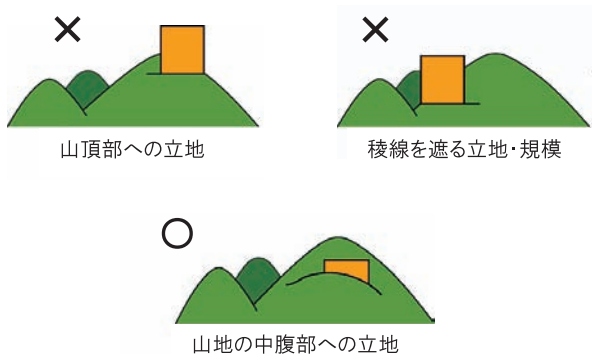
5-1 基本的事項

- ①位置・規模
- ②形態・意匠
- ③素材
- ④色彩

5-1-1 ① 位置及び規模

3. 従来の地形の改変を最小限にとどめるとともに、自然やまちなみの連続性を遮断しないよう努める。

・事業地の選定にあたっては、やむを得ない場合を除き、地形の改変を最小限にとどめることが重要です。  
山頂や丘陵地の頂部等の選定を避けることにより、稜線を保全し連続性を保つことができます。

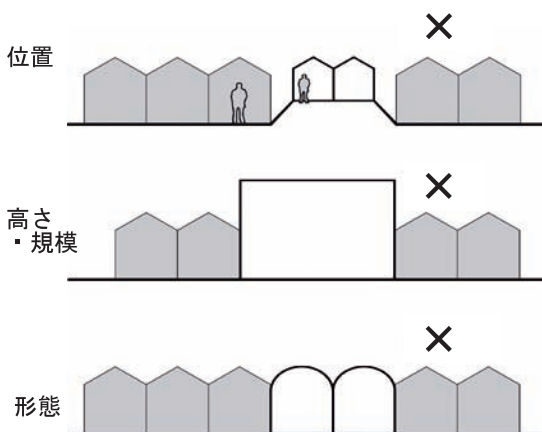


× 配慮が望まれる事例



稜線を遮らない位置の検討が望まれる。

・歴史的な街並み等は、施設の位置、規模等に共通する規則性を持つことで景観の秩序を保っています。このような連続性を分断することのないよう、規則性を尊重した位置や規模とすることが重要です。



・周囲の歴史的な街並みの有する秩序ある景観を尊重する。



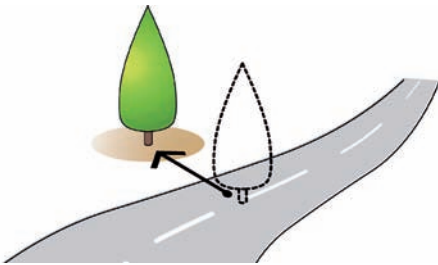
ポケットパークの入口を、歴史的な街並みの連続性を保つ位置・規模としている。(鹿島市)

## 5-1-① 位置及び規模

## 4. 良好な景観を形成している樹木や緑地、歴史的建造物等の景観資源を保存、活用するよう努める。

・地域住民に親しまれている樹木や樹林、歴史的な価値のある土木構造物(橋梁、水路、砂防施設等)や建築物、旧街道等は、その土地固有の原風景を伝えるものとして、できる限り保存、活用に努め、良好な景観の創出につなげることが重要です。

・現地での保存が難しい場合は、良好な状態を保って移植や移設を検討する必要があります。



・既存樹木の保存は、良好な周辺環境も一体的に保存するよう検討する。



歴史的建造物を保存、活用することにより、土地固有の景観を創出している。(佐賀市)



樹木を残すことにより、土地固有の原風景を継承している。(鹿島市)



樹木を残すことにより、土地固有の原風景を継承している。(神崎市)

## 5-1 基本的事項

①位置  
・規模②形態  
・意匠

③素材

④色彩

## 5-1-② 形態及び意匠

1. 違和感や圧迫感のある形態、意匠は避け、機能に根ざした合理的で必然性のあるシンプルな形態を基本とし、周辺の景観と調和するよう努める。

- ・歴史的な街並みや自然景観、農山漁村地域等がもつ、調和と連続性を分断する形態を避け、周辺の景観に調和した形態、意匠とすることが重要です。
- ・地域の特産物をかたどるなどの直接的な模倣や、表面的な装飾は、違和感を与えるため極力避けなくてはなりません。地域固有の形態・意匠をモチーフとして採用する場合は、デザインの洗練が必要です。
- ・機能美とは、施設に要求される性能に対して、機能的に明確な形状であり、それらが美しさをつくり出していることです。時間の経過に耐えられないような過度な装飾を避け、素材の特性を踏まえ、シンプルで分かりやすい構造、形態を基本とすることが基本的な考え方と言えます。

## × 配慮が望まれる事例



安易な図画やデザインは自然景観の中で違和感を与え、飽きられることが多いため、極力避ける。(シミュレーション)



木製トラス構造の橋梁が美しさをつくり出している。(神崎市)



シンプルなデザインで、周辺の景観と調和している。公共建築百選にも選ばれている。(有田町)

## 5-1-② 形態及び意匠

2. 地域のシンボルとなるような公共施設の整備にあたっては、地域にふさわしい優れた形態、意匠となるよう慎重に検討する。

- ・景観上重要な施設を計画する場合等には、地域の地形、素材等の景観資源を生かし、優れた形態・意匠となるよう、専門家や地域住民の意見などを反映させながら慎重に検討することが重要です。
- ・当該施設だけでなく、関連する施設がある場合等には、それらとの統一性に配慮した一体的な検討が必要です。



自然景観を生かし、ランドマークとしての機能を果たしている。(唐津市)

## ◆専門家の意見を反映する仕組み

唐津港では、「唐津みなとまちづくり懇話会」において、官民一体となってみなとまちづくりが考えられている。さらにその専門的下部組織である「唐津みなとまちづくりデザイン専門家会議」では、個々のプロジェクトについて、調和のとれた唐津港にふさわしいデザインが検討される等、景観への配慮が図られている。



デザイン専門家会議の提案を受けて整備された東港フェリーふ頭及びターミナルビル(唐津市)

### 5-1-③ 素材

1. 周辺の景観に調和した素材を使用するとともに、自然素材又は伝統的素材など地場産材が使用できる場合には、積極的に活用するよう努める。

- ・素材の持つ特徴を踏まえた上で、景観に与える影響に配慮し、周辺の景観と調和させることが重要です。
- ・土、木、石、レンガなど地域固有の自然素材や伝統的素材がある場合には、機能性、耐久性等の検証を行なった上で、積極的に活用することにより、地域のまとまりある景観の創出につながります。
- ・歴史的建造物が近接する場所では、そこで使われている伝統的素材や地場産材などをその一部に使用したり、周囲に溶け込む素材を使うことにより、既存の歴史的建造物との調和を図ることができます。伝統的素材と金属やガラスなどの現代的素材を対比させ、歴史的建造物を引き立てながら調和を図る手法もありますが、違和感を与えないよう特に慎重な検討が必要です。
- ・自然景観の地域等では、外観に反射性の高い素材を使用した構造物が存在すると、周辺から浮いた印象を与えます。できる限り光沢を抑えた周辺景観に溶け込む素材を使用し、やむを得ず使用する場合は、広範囲に使用せず、表面処理により反射性を抑える等の工夫が必要です。



遊歩道の防護柵に天然木を使用することにより、自然景観と調和している。(佐賀市)



塀の素材に、地場の産業である焼き物の窯のレンガ(トンバイ)を利用し、個性ある景観を形成している。(有田町)

#### ◆配慮が必要な事例と改善例 (シミュレーション)



×  
光沢があり自然景観から浮いた印象を与えている。



○  
反射性の低い素材を使うことにより、周辺の景観と調和させている。



残置式小径丸太型柵で県産木材を使用し、周囲を緑化することで、自然景観と調和している。(武雄市)

## 5-1-③ 素材

## 2. 耐久性があり、維持管理が容易で経年変化により風格の増す素材の活用に努める。

- ・公共施設に使用する素材は、耐久性、耐候性、退色性が高く、汚れが目立ちにくい素材(石材、レンガ、鉄など)や、時間の経過につれて味わい<sup>\*</sup>の出でくる素材(石材、硬質の木材、レンガなど)を選択することにより、景観上の質が維持できます。エイジング<sup>\*</sup>効果を期待した素材を適切に使用することが重要です。
- ・特に汚れやすい場所、人が接近する場所については、汚れがつきにくく、汚れても雨により自然に洗浄される等、メンテナンスのしやすさを考慮した素材を選択する必要があります。
- ・硬質の木材等はエイジング効果が期待でき、あたたかみがあるため、人が触れる場所等での利用で有効ですが、適切なメンテナンスが必要です。
- ・コンクリートについても、水処理や目地のデザインなど、表面処理や細部意匠の検討により、エイジング効果の演出に配慮することができます。



石材を使用し、年月を重ねるごとに風格を増している。(有田町)



座る部分のみ木材利用したベンチや石材を効果的に使用し、あたたかみのある空間となっている。(鹿島市)

## ※エイジング

年月を経て備わる風格や味わい



## ◆素材の種類と特徴

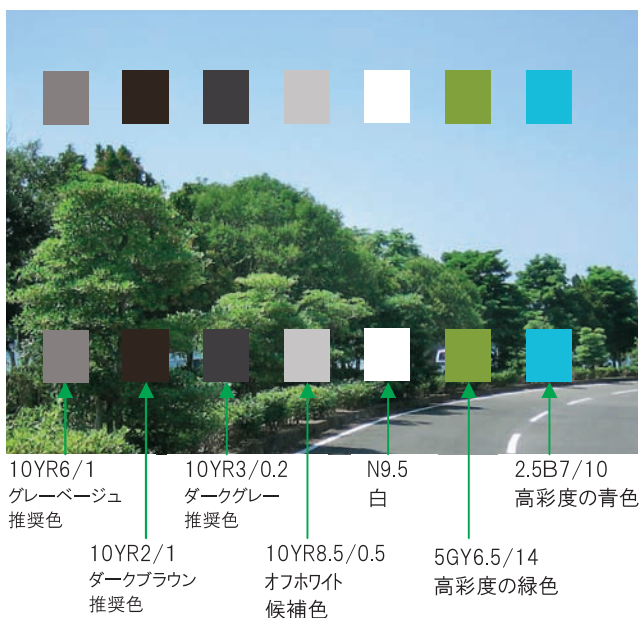
	長所	短所	使用イメージ
木材	加工しやすい。 自然景観と調和しやすい。 独特のあたたかさがある。	汚れ、退色、腐れ、反り、割れなど、比較的維持管理が難しい。	
石材	耐久性、不燃性がある。 磨耗が少なく、仕上げ材として適する。 自然景観と調和しやすい。 独特の色調があり、高級感がある。	価格は高い。 加工が難しい。	
レンガ	耐火性、耐久性、耐水性がある。 自然景観と調和しやすい。 吸水率が低く、強度もあり外壁や路面に使用される。	地震に弱く、構造部では使用しにくいことから、使用範囲が限定される。	
瓦	自然環境に調和しやすい。 耐久性、耐火性、断熱性がある。 伝統的素材であり、美観よく仕上げることができる。 部分的に、修復交換しやすい。	使用範囲が限定される。	
金属	加工により極小材から長大材まで種類が多い。 加工や接合しやすい。 耐久性がある。 シャープさ、モダンさを感じさせる。	自然景観になじみにくい。 あたたかみが少ない。 錆などの変化が起こりやすいものは防食加工を必要とする。 自由にデザインできるが、特注品はコストがかかる。	
タイル	色落ち、劣化が少なく、汎用性が高いものは維持管理が容易。 種類が豊富で変化に富む。	車両の乗り入れ部など、負荷がかかる所には不向きなど、使用範囲が限定される。	
ガラス	シャープさ、モダンさを感じさせる。 小型のものは、大量生産で均一で安価にできる。 多彩な色調ができる。	大型のものや特殊なものは高価となる。 曲げ強度、引張強度、熱応力が弱く割れやすい。 自然景観になじみにくい。 あたたかみが少ない。	
コンクリート	耐久性、耐火性、耐候性に優れ、維持・管理も比較的手間がかからない。 形状・寸法を比較的自由に選択することができる。	乾燥下で収縮することにより、ひび割れを生じやすい。 表面処理の仕方によっては、汚れがつきやすい。	

## 5-1-④ 色彩

1. 公共施設の基調となる色については、高彩度を避け、四季を通じて周辺の景観と調和した落ち着いた色彩を基調とするよう努める。

- ・周辺の自然や街並みと著しく異なる色彩を使用すると、周辺から浮いて見え、良好な景観を損ないます。  
できる限り素材そのものの色彩を活かすほか、低明度、低彩度の色彩を基調とし、周辺景観と色相、明度や彩度を統一、または類似させることによって、施設の特性を考慮しながら、違和感のない色彩とすることが重要です。
- ・表面の状態や見る角度によっても、色の見え方が変わるため、明度の高いコンクリート等も、表面処理の工夫により明度がさがり、周辺景観になじみやすくすることができます。
- ・周囲がやわらかく明るい色彩の場合等には、暗くこげ茶色等の濃い色は、目立ちすぎることがあります。また、空や森を意識した彩度の高い青色や緑色の色彩も違和感を与えることが多いため配慮が必要です。

## ◆自然景観を背景とした色彩の見え方



- ※ 推奨色、候補色は、「景観に配慮した防護柵の整備ガイドライン(国土交通省)」で示されている色彩です。
- ※ 印刷による色再現のため、実際のマンセル値とは異なる場合があります。



落ち着いた色の屋根、外壁を自然素材とすることにより、自然景観と調和している。(佐賀市)



遊具施設を落ち着いた色彩とすることにより、自然景観と調和している。(神崎市・吉野ヶ里町)



茶系の色彩とすることにより、自然景観と調和し、圧迫感が軽減されている。(福岡市)

5-1-④ 色彩

2. 地域のシンボルとなるような公共施設の整備にあたっては、シミュレーション等により周辺の景観に与える影響について慎重に検討する。

- ・大規模な橋梁や建築物などの公共施設を地域のシンボルとして設計する場合や、周辺景観と対比する色彩を用いて際立たせる場合には、周辺景観に与える影響が大きいため、シミュレーション等によって専門家等の意見を聞きながら慎重に検討することが重要です。
- ・アクセント色の使用により、適度な変化やリズムが生まれ、賑わいのある景観の演出につながります。使用にあたっては、範囲や色、その効果等についての十分な検討が必要です。

◆公共事業の色彩計画の基本的な視点

視点	内容・主旨
普遍性への配慮	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一過性の流行にとらわれない</li> <li>・色彩計画の過程と根拠を明らかにし、その主旨が維持管理段階まで継承されるようにする</li> </ul>
公共性への配慮	<ul style="list-style-type: none"> <li>・色彩計画の考え方を明らかにし、説明責任を果たす</li> <li>・住民参加の機会を設ける</li> </ul>
総合性への配慮	<ul style="list-style-type: none"> <li>・対象施設の位置づけと地域の関わりを総合的に考える</li> <li>・対象施設本体と周辺景観との関係を考える</li> <li>・行政内部での協力・連携の体制をつくる</li> <li>・専門家等のアドバイスを受ける</li> </ul>

◆色彩のシミュレーション



1:シンボル性の演出  
対比する色彩とすることで、自然景観の中でシンボル性が演出される。



2:周囲との調和  
彩度を下げることで、自然景観との調和が図られる。




地域のシンボルとなっている橋梁。(佐賀市)

【参考】色彩について

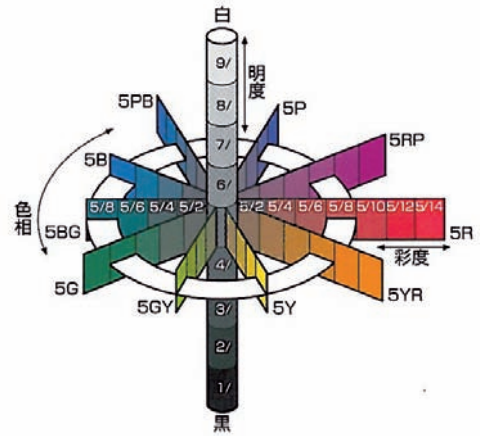
◆マンセルシステム

色彩を色の三属性(色相、明度、彩度)によって表現する方法で、日本では、JIS Z 8721(三属性による色の表示方法)として規格化されている。「色相」、「明度」、「彩度」の3つの属性の組み合わせによって一つの色彩を表す。

ゴ-アル ヨン ノ ジュウヨン  
**5R 4 / 14**  
 (色相)(明度) (彩度)



※印刷による色再現のため、実際のマンセル値とは異なる場合があります。



＜マンセル表色系の仕組み＞

「色相」

色味の違いを色相として表す。色相は、R(赤)、YR(黄赤)、Y(黄)、GY(黄緑)、G(緑)、BG(青緑)、B(青)、PB(青紫)、P(紫)、RP(赤紫)の 10 の色相の頭文字と、その変化を表す 0 から 10 までの数字を組み合わせる。

「明度」

色彩の明るさの度合いを明度として表す。0 から 10 までの数字を用い、明るい色彩ほど数値が大きくなる。無彩色は、N5.5 などのように最初にニュートラルの意味を表すNをつけて明るさの度合いだけで色彩を表す。

「彩度」

色彩の鮮やかさの度合いを彩度として表す。鮮やかな色彩ほど数値が大きくなるが、最大の数値は色相によって異なる。色味のない鈍い色ほど数値が小さく、白、黒、グレー等の無彩色の彩度は 0 となる。



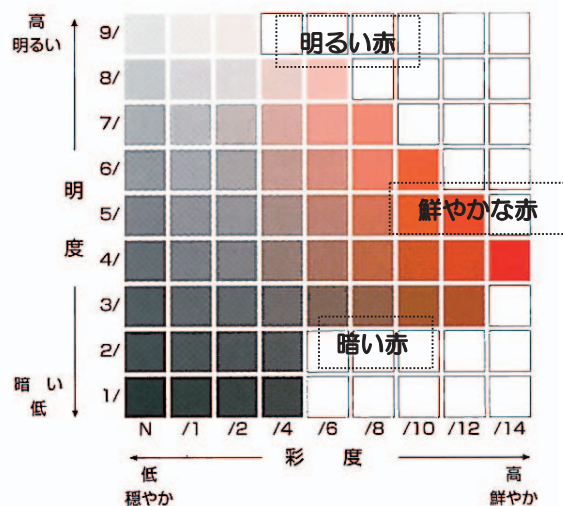
＜マンセル色相環＞

5-1 基本的事項

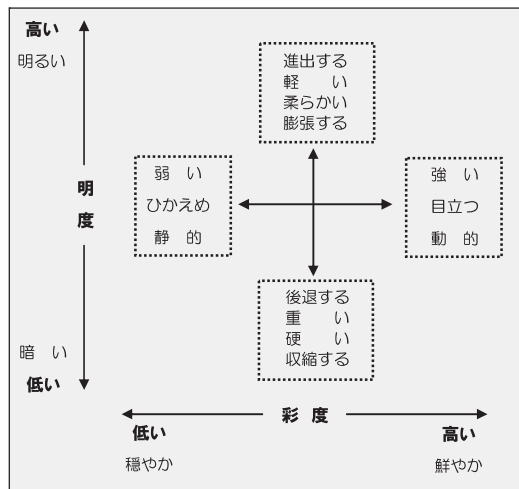
- ①位置・規模
- ②形態・意匠
- ③素材
- ④色彩

◆ トーン

色彩の三属性のうち、明度と彩度を組み合わせた色の濃淡、明暗、強弱等などの色の調子を示すトーン図は、縦軸に明度を示し、上が「明るい」、下が「暗い」となる。横軸は、彩度を表示し、無彩色から右方向に彩度が高くなる。



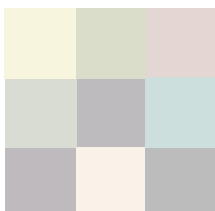
<色相とトーン>



<トーンと色彩のイメージ>

◆ 色彩調和の三つの型

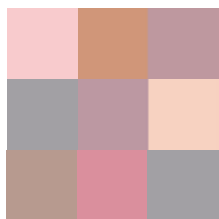
「類似色調和型」:よく似た色を使った配色



グレーやブラウン系といった類似の色彩でそろえる配色。  
まとまった統一感のある配色となるが、単調になる恐れもある。

例) 色相:2.5YR~5G 明度:7~9 彩度:0.5~2

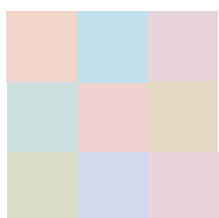
「色相調和型」:色相をそろえトーンに変化をつけた配色



一つの色相または、類似の色相をつかいトーンに変化をもたせる配色。  
木や土を建材として使用していた日本の伝統的なまちなみは、YR(黄赤)系を中心とした色相調和型が多い。

例) 色相:2.5R~5YR 明度:自由 彩度:0.5~6

「トーン調和型」:トーンをそろえ色相に変化をつけた配色



一つのトーンまたは類似のトーンで色相を変化させる配色。  
日本の伝統的なまちなみではほとんどないが、穏やかなトーンでそろえ、色相に変化をもたせると、落ち着いた中にも華やかさのあるまちなみとすることができる。

例) 色相:自由 明度:8以上 彩度:0.5~2

- ①位置・規模
- ②形態・意匠
- ③素材
- ④色彩